

議事概要記録

開催日時	令和2年12月12日(土) 10:00~15:00	開催場所	アバローム紀ノ国 4階羽衣の間
会議種別	令和2年度 第5回常務理事会	議長	久保 光史
		書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	田中 規仁、田原 靖子、神藤 洋次、栗林 伴有、丸澤 佳子、久保 光史 6名		
欠席者 <敬称略>		オブザーバー	
次第			
議事概要	1) 次年度予算について 2) タスクシフティングに係る講習会について 3) 臨地実習指導者講習会について 4) 会報 5) 学術活動 6) 各種委員会 7) HP 8) 70周年記念式典について 9) 近畿支部医学検査学会について 10) その他		
決議事項 及び 継続事項	1) 次年度予算について 【学術】 ・会誌、研究班勉強会、精度管理については例年通りで計上 ・合同勉強会については、会員同士の直接交流を主軸においた企画でありコロナ禍での開催は困難と判断し今回は予算計上なし。 【公益】 ・健康と食のフェスタ、HIV啓発活動、検査展について例年通りで計上 ・健康と食のフェスタについては開催にあたり感染対策が必要と予想されるため、その分の備品費用(消毒用アルコール等)についても追加計上することで一致 ・検査展について、開催方法の検討が必要(従来の対面式での開催が会場も含め現状困難である)。大臨技はWeb開催を予定している。秋田理事にも協力頂き今後の開催方法に関する案を検討頂くことで一致。 【渉外】 ・災害フォーラム、ボランティアができる技師育成講習会に例年通りで計上 【事務局】 ・HP、オリエンテーション、会報、行事予定表、施設長代表者会議、コミュニケーション、総務について例年通りで計上 ・Web研修準備委員会および事務局運営費に関する予算書を追加作成 ・ニューリーダー研修会に関してコミュニケーション事業に加えることで一致		

【その他】

・予算計上を行う上で、今年度の事業がほとんど開催できていない状況で次年度会費徴収について様々な意見がある中（例えば次年度の会費を値下げする等）次年度の会費徴収を変更するか否かについて田中会長より提案あり。

現状新たな対応として Web 研修開催が予定されており、その際の備品購入なども含め予算計上が必要となる。会費を値下げするのではなく、次年度勉強会参加費を免除するなどの対応ではどうかとの意見あり。常務理事は賛成で一致。理事会への審議事項として提案。

HP 担当者ならびに今後の学術での Web 研修などでの PC の購入に関しても予算が必要と考えられる。PC についてはリース契約も踏まえて今後検討が必要との意見あり。

2) タスクシフティングに係る講習会について

田中会長より資料を基にタスクシフティングに係る講習会について説明があった。

- ① 理事向け都道府県研修会の開催
日臨技 Web セミナー受講後タスクシフティング推進等の方策を議論
- ② 会員向け啓発事業の開催

以上の運営について公益事業として運営することと、担当理事については理事会で審議事項とした。

3) 臨地実習指導者講習会について

田中会長より資料を基に臨地実習指導者講習会について説明があった。

2023 年度末までに全国で 1,200 名以上の臨地実習指導者を育成すること。

運営方法としては理事 1 名が代表で研修を受けて伝達講習形式での地区開催を目指す。（従来の検査説明研修会やベッドサイド実践研修会のような形式）

県内で実習を受け入れている（今後受け入れる予定も含む）施設が対象となり、指導者の勤務体制（定年や転職など）も踏まえ各施設 2～3 名の参加を予測して開催する必要があると報告があった。

以上の運営について公益事業として運営することと、担当理事については理事会で審議事項とした。

4) 会報

会報に関して、年度内に 1 冊は発行進めるよう担当理事へ申し送る（担当は谷本理事）。内容として本年度採用の各施設の新人者、および表彰者などに記事投稿を願ってはどうかとの意見あり。理事会にて担当理事へ申し送ることで一致。

5) 学術活動

・現状、Web 研修準備委員会の進捗を踏まえた上で次年度の開催を目指したいが問題点として、生涯教育登録ならびに参加費徴収方法があり、生涯教育登録運用に関して継続審議となった。

参加費については、次年度勉強会参加費免除の方向で理事会審議となった。

・総合管理班の勉強会案に関して、以前はより管理者向けに特化したテーマが多く見られたが最近は少ない印象を受ける。法改正に関連した内容など、現状各施設管

理者に伝達が必要な内容について常務理事会より提案していく形も検討していくこととなった。

6) 各種委員会

・災害対策委員会

大前理事より災害対策マニュアルの改訂、委員会運営に関する提案があり、基本提案内容に関して問題がないと確認した。また、理事会審議にて最終確認することとなった。

7) HP

特記事項無し

8) 70周年記念式典について

和歌山県臨床検査技師会 70周年記念式典を次年度開催予定
開催に向けて準備委員会を立ち上げることで一致。

責任者は田中会長、神藤副会長。

その他市内地区施設より委員を選出して対応することで一致。

会長より、できれば今後を担う世代に委員をお願いしたいとの意向があった。

9) 近畿支部医学検査学会について

田中会長より開催県に関して報告があった。

2021年（令和3年）福井県

2022年（令和4年）兵庫県

2023年（令和5年）和歌山県

次年度より検討を始め、準備委員会の立ち上げを図る。

会場候補についても随時検討し必要分は予約準備開始。

会長よりホテルグランヴィアのブライダル事業がなくなり会場候補としても検討の余地が出てきそうであること、新規移転する和歌山市民会館も候補にしてはとの意見を頂く。

10) その他

改正法をいかした新しい施設認証制度について田中会長・久保より報告。

名称変更 日臨技施設認証制度 → 日臨技品質保証施設認証制度

新制度開始 2021年4月より

部門項目の拡充 現) 血液・生化学のみ → 新) 全10部門

詳細別紙資料参照

記録作成	令和2年12月26日	氏名	久保 光史	提出	令和2年12月27日
------	------------	----	-------	----	------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可